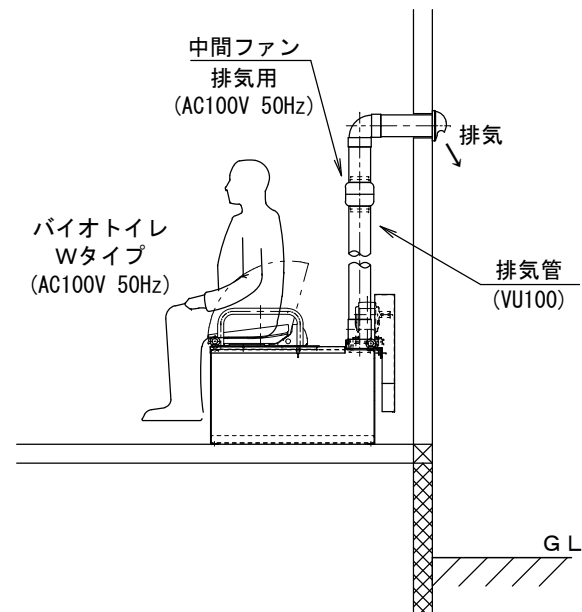
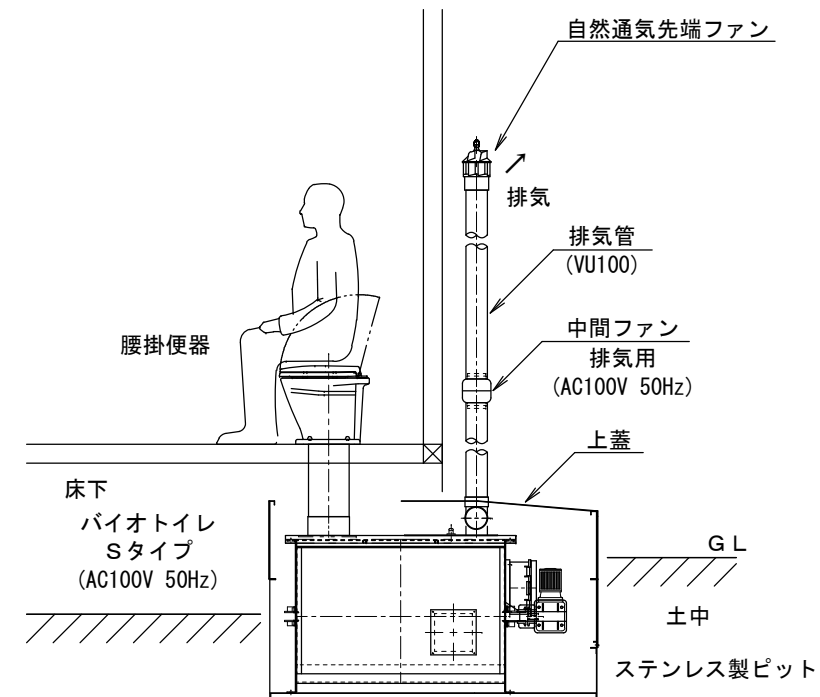


【タイプ①】 本体「Wタイプ」
空きスペースに設置する



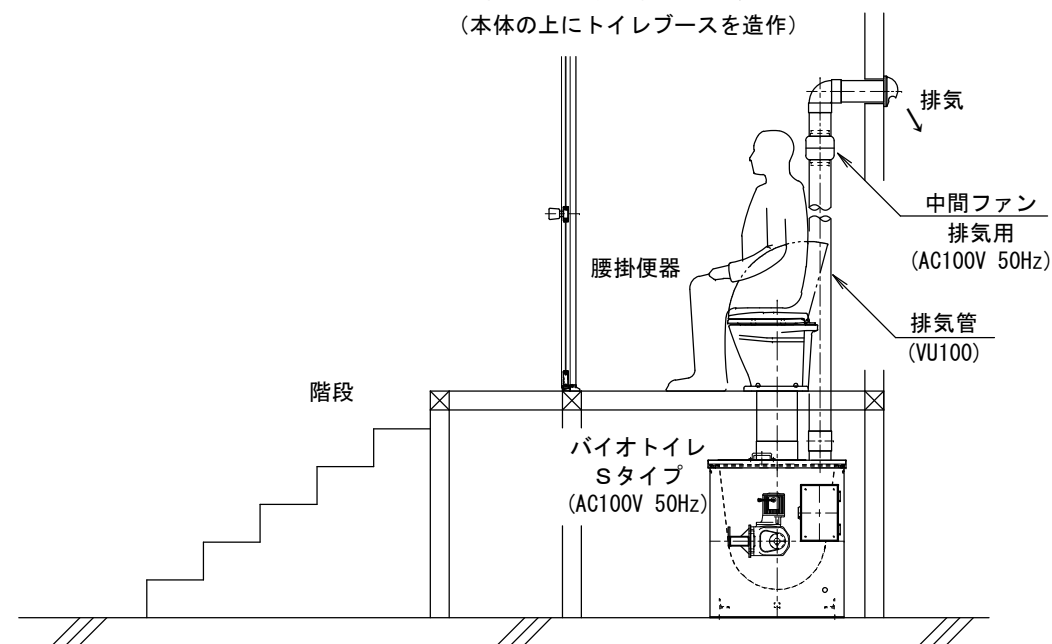
- ※1. 便座と手摺が標準装備されポンと置けばどこでもトイレです。
※2. 本体と排気ファン用にAC100Vのコンセントが必要です。

【タイプ②】 本体「Sタイプ」
ステンレス製ピットを使用した場合



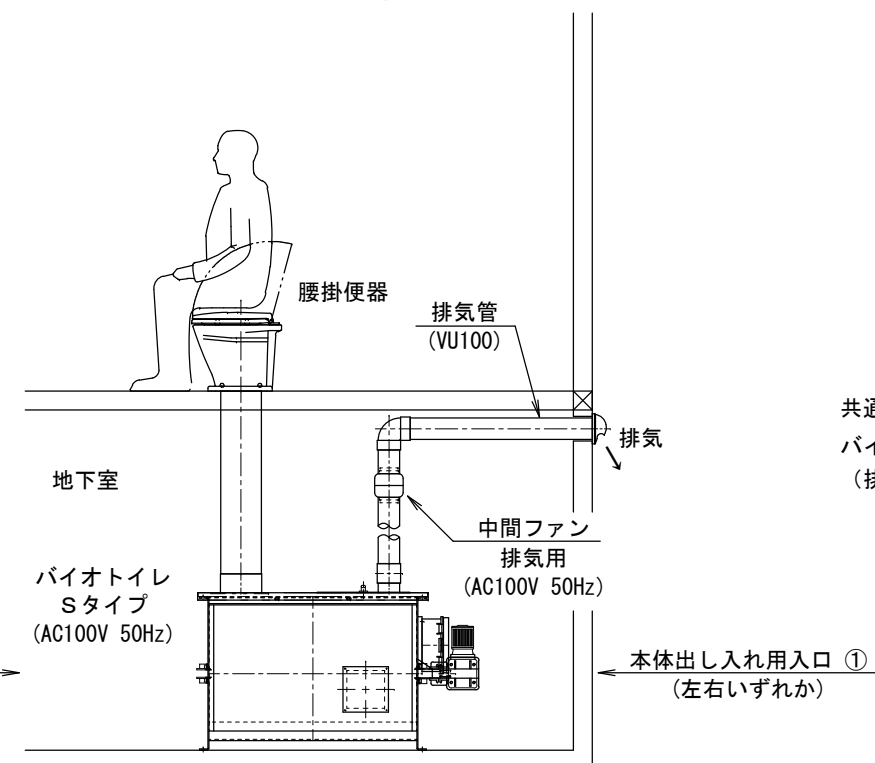
- ※1. ステンレス製ピットは土圧に充分に耐えられる強度が必要です。
※2. 汲み取り方式をバイオトイレに入替する場合にも使用出来ます。

【タイプ③】 本体「Sタイプ」
倉庫等の一角に設置した場合
(本体の上にトイレブースを造作)



- ※1. 工事費は本体上部にトイレブースを造作するので比較的安価に出来ます。
※2. トイレブース床高さは120 (cm) 以上の高さが理想的です。

【タイプ④】 本体「Sタイプ」
地下室を利用した場合



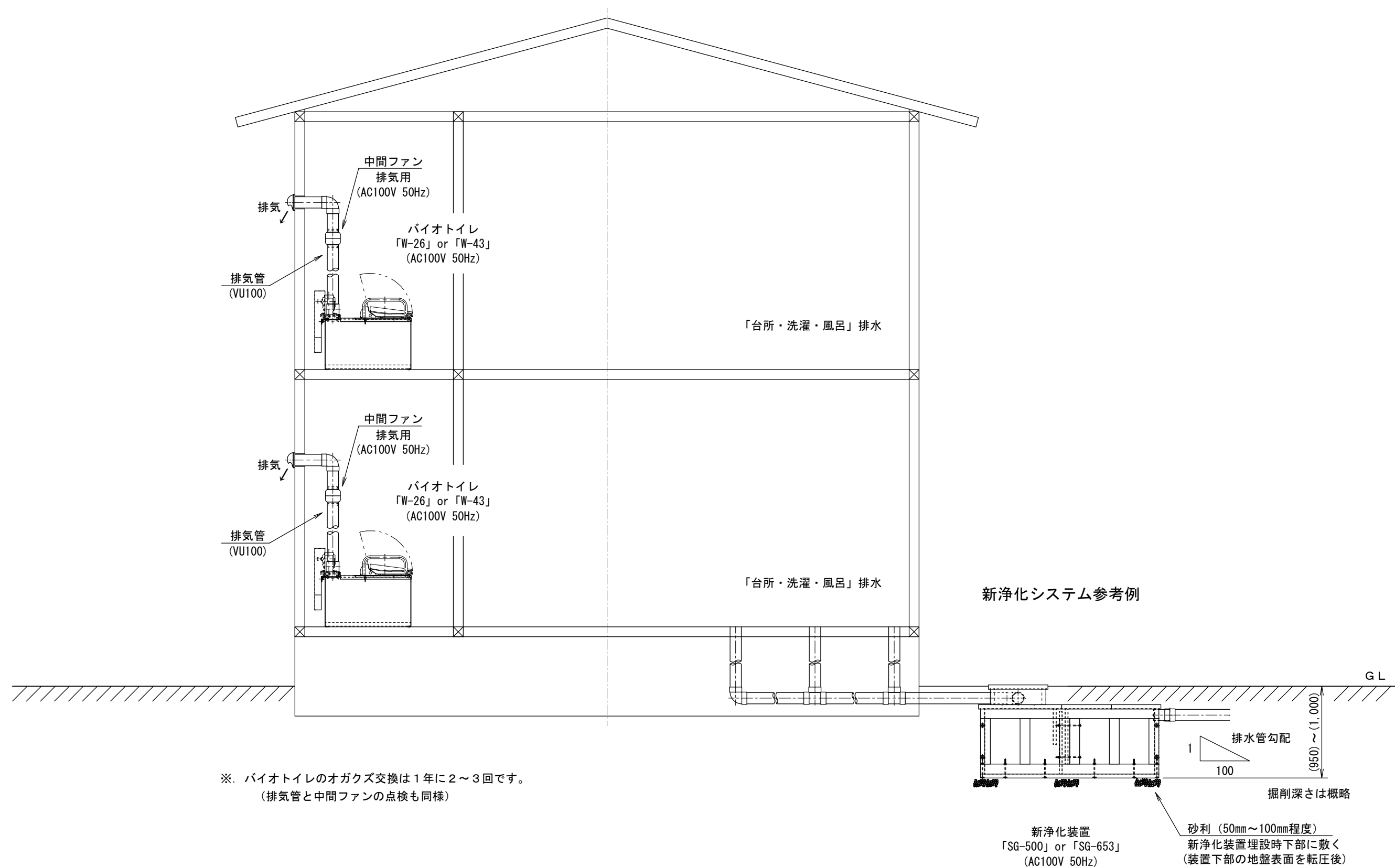
- ※1. 本体を出し入れする入口と充分なメンテナンススペースが必要です。
※2. 地下室は160 (cm) 以上の高さが理想的です。

共通事項として
バイオトイレのオガクズ交換は1年に2～3回です。
(排気管と中間ファンの点検も同様)

バイオトイレ設置施工参考例

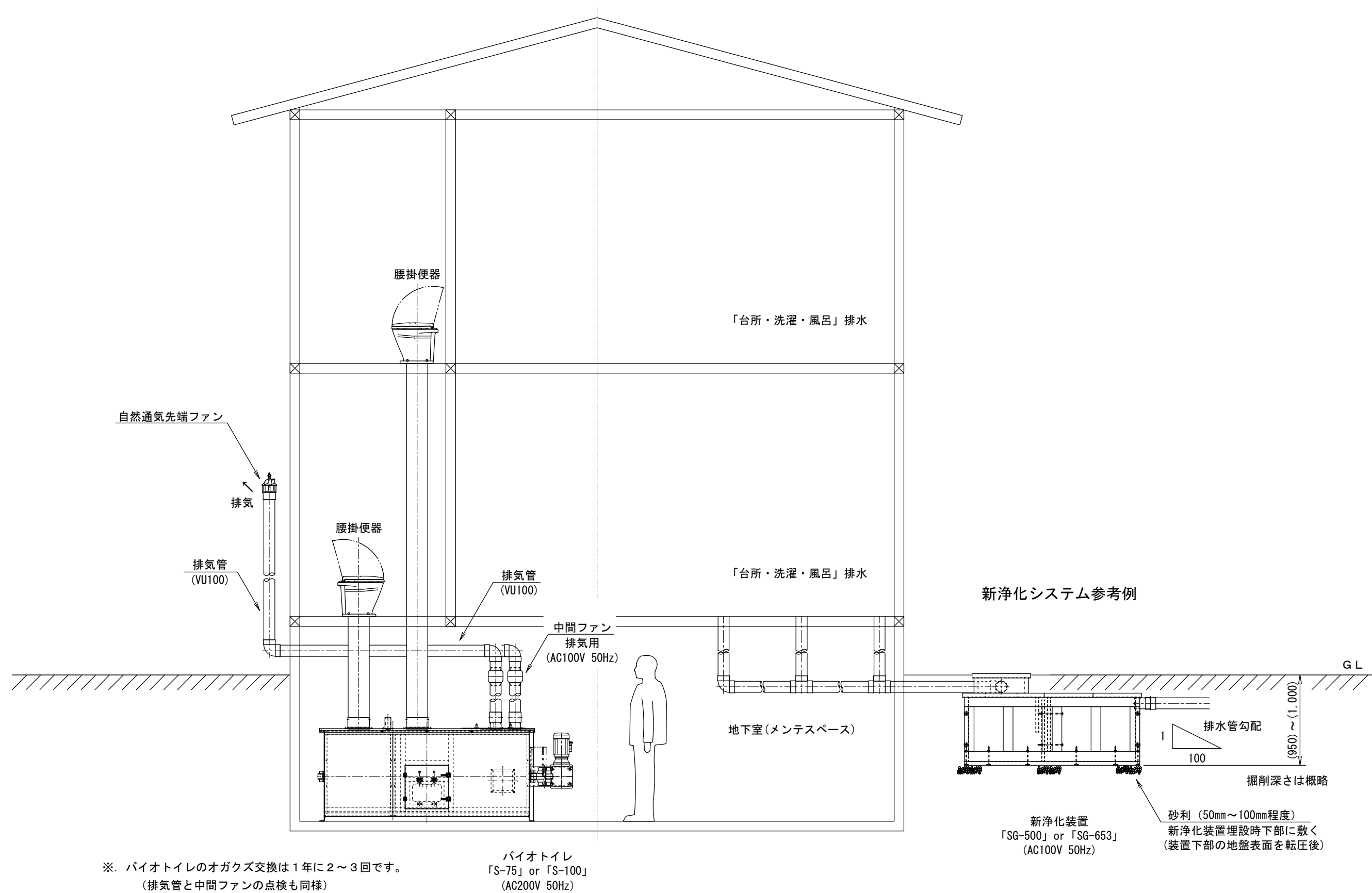
配置イメージ図「4」

2013, 09, 05



配置イメージ図「3」

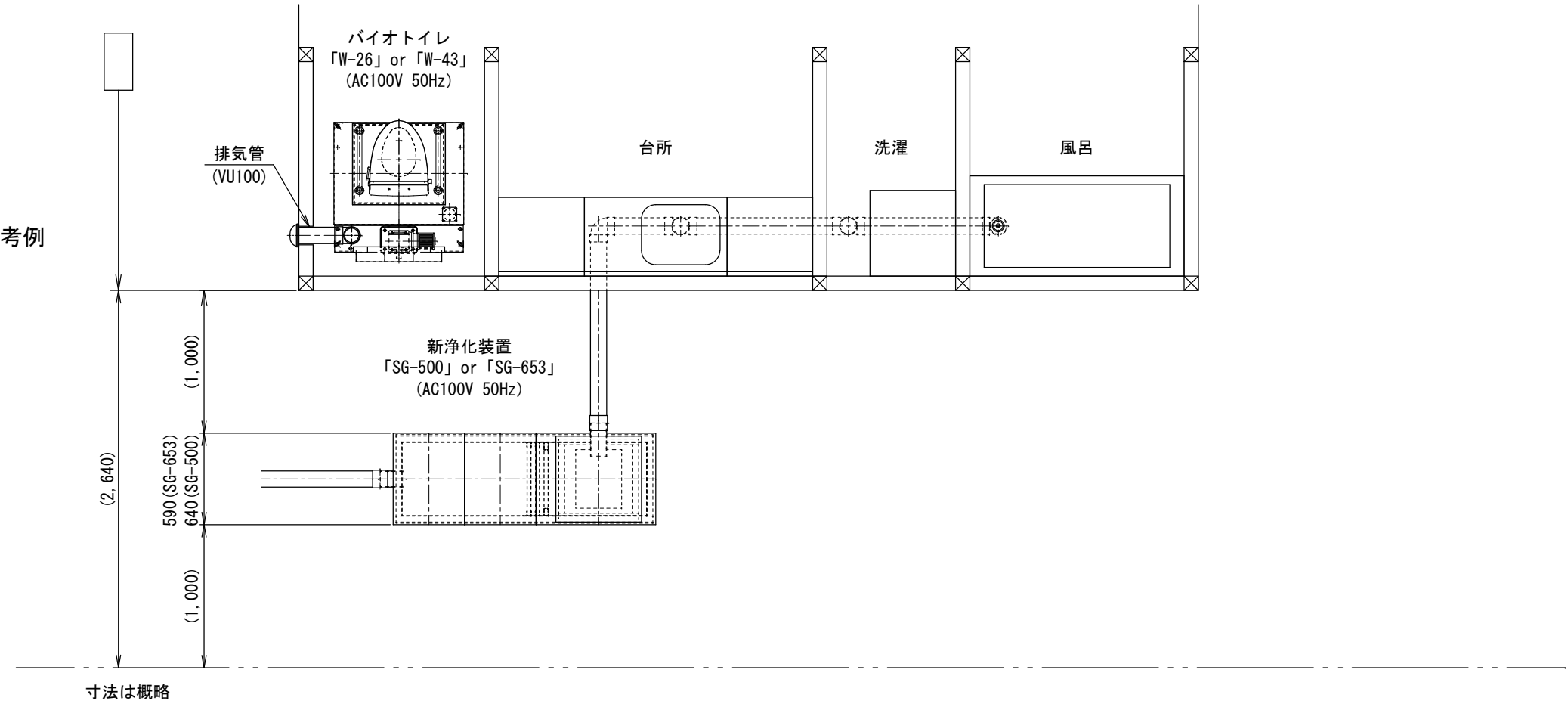
2013, 09, 05



配置イメージ図「2」

2013, 09, 05

新浄化システム参考例



※. バイオトイレのオガクズ交換は1年に2～3回です。
(排気管と中間ファンの点検も同様)

